

## 第16回定期総会と2019年度学習会 介護保険の行方と高齢者を脅かす課題を学習

山元 事務局長

昨年10月27日（土）第16回定期総会の前に毎年恒例の学習会を開催した。今年度最初の演題は「介護保険の行方と高齢者を脅かす課題について」社会福祉法人サルビア会理事長の岡田三正氏（自治労滋賀退職者会長）をお願いした。JAM滋賀シニアクラブはここ数年、総会開催の前段に学習会設定が慣例となり定着した取り組みとなっている。会員も年々高齢化するなど身近なテーマと言えば福祉行政に関する内容が多くなってきているのが現状である。

2018年度の9月には、現・退会議で「地域包括センターの役割について」と題して開催した経過がある。今回の介護保険に関する内容は、いつお世話になるか分からないと思いつつも心の中では多少の抵抗感を感じながらの学習会となった。保険料は納めても具体的にはどうなるのか？介護保険サービス利用の流れから、介護サービスの種類や利用した時の費用などのレクチャーを受けた。実際に対象となるまでの認定手続きから認定までの期間等、結構労力を要するなど大変さを痛感した。

今後の課題として、2025年・2030年問題となる人口減少（高齢者増と少子化）、さらに、介護保険料・利用料の負担増や介護サービスの縮小（介護人材不足）等、学ばば学ぶほど気が重くなる様な気がしてならない。地域包括センターの役割の時もそうであったが、お上の掲げる内容と実態との乖離は大きくなるばかりである。こうした現状を解消するためにも、7月参議院議員選挙には候補者「田中ひさや」の必勝を是が非でも勝ち取り活躍して欲しいと願うばかりである。



